



IBMとOracleの強力なコラボレーション イノベーションを実現する最新の経営/IT基盤のために

タイムリーな情報入手の必要性

競争優位性を保つには、単に何を知っているかだけでなく、いつ知るのが重要になります。成功するには、1秒でも最新の情報を駆使してダイナミックに重要な意思決定をする必要があります。そのためには、必要とする人が必要ときに確実かつタイムリーなデータに容易にアクセスできるリアルタイム・ビジネスの構築を可能にするエンタープライズ・ソリューションが必要です。

即応性が成功への鍵

今日のビジネス環境において一歩先を進み続けるためには即応性が求められています。絶えず変化する市場の状況や顧客の要求に迅速かつ柔軟に対応する能力が重要です。それにはシームレスな接続性、コラボレーション、および生産的な情報の流れが必要です。

IBMとOracleの密接なパートナーシップにより、顧客、サプライヤー、パートナー、従業員のリアルタイム・コミュニケーションを支援するエンタープライズ・ソリューションをOracle Applicationsをベースに構築することが可能です。IBMでは、アプリケーション、インフラストラクチャー、Oracle Applicationsのスキルや導入経験など、真のコラボレーティブな経営を実現するのに必要な要素がすべて揃っています。

Oracleは、お客様固有のニーズに合わせてアプリケーションを選択できる柔軟性を持ち合わせたクラス最高のエンタープライズ・ソフトウェアのフルスイートを提供しています。IBMは、堅固な

基盤となるインフラストラクチャーをもたらず優れたハードウェアとミドルウェアを提供すると同時に、ビジネス・トランスフォーメーション・アウトソーシング(BTO)、カスタマー・リレーションシップ・マネジメント(CRM)、フィナンシャル・マネジメント(FM)、ヒューマン・キャピタル・マネジメント(HCM)、サプライチェーン・マネジメント(SCM)、IBMアプリケーション・マネジメント、ファイナンス・サービスをはじめとする全ライフサイクルをカバーするコンサルティングサービスを提供しています。

お客様のビジネスへの貢献

IBMとOracleの強力なコラボレーションにより、ビジネス上の意思決定の迅速化、効率改善、顧客満足度の向上、そしてROI(投資効果)の早期実現をご支援します。IBMは、ハードウェア、ソフトウェア、およびサービスの継続的なイノベーションの追求により、お客様の業績の最大化とコスト削減をご支援します。

「OracleのPeopleSoftソリューション導入を検討中なら、間違いなくIBMをお勧めします。IBMは単にシステムを導入することばかり考えるのではなく、各企業に合ったビジネス・ソリューションを見つけることに関心を寄せているからです。その上、豊富な経験があり、いくつかの陥りやすい過ちを回避できます。初めて導入するのであれば、経験豊富なパートナーが絶対必要です。それも、ビジネスを中心に考えることができ、導入とサービスの経験があるというだけでなく、優れた実績のあるパートナーでなければなりません。以上の理由から私がお勧めするのはIBMです。」

— AstraZeneca Canada社人事担当副社長 Toni Garro氏



IBMとOracleのアライアンス

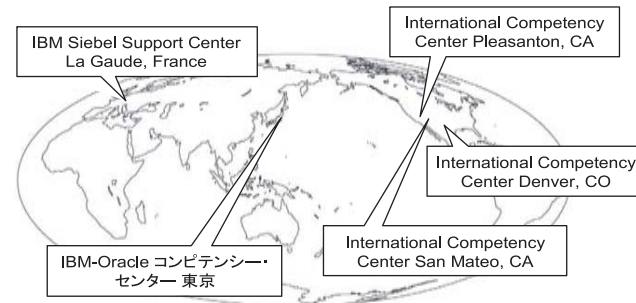
IBMとOracleは1986年以来、お客様の複雑なビジネス問題を解決するためにグローバルなパートナーシップを締結しています。Oracleが持つエンタープライズ・アプリケーションの専門知識と、IBMの包括的なサービス・ポートフォリオ、およびOracle Applicationsの設計、構築、運用に最適化されたハードウェアを組み合わせるにより、15,000社を超えるあらゆる業種・規模のお客様の企業経営変革をご支援してきました。IBMとOracleのコラボレーションにより、お客様のビジネス成長のための堅固な基盤の構築に加えて、TCO削減とリスク軽減をご支援します。

リスク軽減に向けてIBMは以下に取り組んでおります。

- 独自のソリューションとともに、これまでの豊富なサービス実績や、グローバル企業として世界で数多くのオラクルコンサルタントを擁し、高いスキルを提供する体制を構築。また、日本では、Oracle Applicationsを中核としてお客様の経営変革をご支援する組織として2006年、IBMビジネスコンサルティングサービス株式会社内に「バリュー・デリバリー・センターII」を設立。
- 20年以上にわたるOracle Applicationsおよびテクノロジーに関する経験を用い、アプリケーション導入の迅速化と効率化を実現。
- IBMサーバー上でのOracle製品のテストおよび最適化のためOracleへの技術者派遣。
- サンマテオ/プレザントン(米国カリフォルニア州)、デンバー(コロラド州)、モンペリエ(フランス)、および東京の拠点へのIBM Oracle International Competency Center (IOICC)の設置・運営。IOICCでは、あらゆるIBMサーバー・プラットフォーム上でのOracle Applicationsのサイジングおよびスケーリングのための徹底的なテストを実施。

IBMは、以下によってTCO削減をご支援いたします。

- 優れたパフォーマンスの提供: IBMシステムは、Oracle Applicationsのすべての標準ベンチマークにおいてトップクラスにランクされています。
- ITリソースの最適化: IBMの仮想化技術は、Oracleをご利用のお客様が1台のサーバーで開発、テスト、および本番運用に共用することを可能にし、高いコストパフォーマンスを実現します。
- 20年以上にわたるOracle導入経験に基づく効率的な導入およびサービスの提供。
- 他システム連携、開発、およびソフトウェア・サポート・コストの削減。



Oracle Database、E-Business Suite関連サポート

東京都千代田区紀尾井町3-8 第2紀尾井町ビル3F
日本オラクル株式会社内

Peoplesoft、JD Edwards、Siebel関連サポート

東京都千代田区永田町2-11-1 山王パークタワー6F
日本オラクルインフォメーションシステムズ株式会社内

世界最高レベルの知識とスキル

業界最高のハードウェア、ソフトウェア、およびミドルウェアはもちろん重要ですが、適切な導入のためのスキルと知識がなければ、成功するソリューションの実現は困難です。そこでこそIBMの強力なリーダーシップが発揮されます。IBMの専門知識は、豊富なOracleリソースによって群を抜いています。また、長年蓄積してきたノウハウを駆使したビジネス・プロセスのご提案、そのビジネス・プロセスに見合った製品導入の計画、製品の導入アプローチによりお客様の企業経営の変革をご支援します。

IBM Global Business Servicesには、世界最大規模と世界最高のスキルを備えたOracleコンサルタントを擁しています。IBM Global Business Servicesは、1986年以来Oracle Certified Advantage Partnerに認定されており、これまでに7,500件以上のOracleプロジェクトを成功に導いた実績を誇ります。

このため、IBMのスキルの高さはOracleに認められており、IBMのコンサルタントは、Oracleの「North American Global Systems Integrator Partner of the Year」(2005~2006年)、「Asia Pacific Applications Partner of the Year」(2005年)、「Oracle E-Business Suite Partner of the Year for Japan」(2004~2005年)、および「North American Applications Partner of the Year」(2004年)を受賞している他、日本でもPeoplesoft Award 2005「ダイヤモンドジェネレーション賞」、Oracle Award 2006にて「JD Edwards of the Year」(2006年)を受賞した他、2007年にはOracle AwardでのApplications部門最高賞である「Applications Partner of the Year」(2007年)を受賞しました。



Oracle Award 2007
「Applications Partner of the Year」受賞

最高クラスのアプリケーションへのこだわり

Oracleソフトウェアは、お客様が注文の入力や追跡を自ら行うことや、購買担当者が調達コスト削減の機会を見定めること、従業員が有益な情報を閲覧したりすることなどを可能にします。さらに、いずれの場合も役割に合わせてカスタマイズできることに加えて、標準

ブラウザさえ搭載されていればどのような機器でもアクセスすることが可能となります。

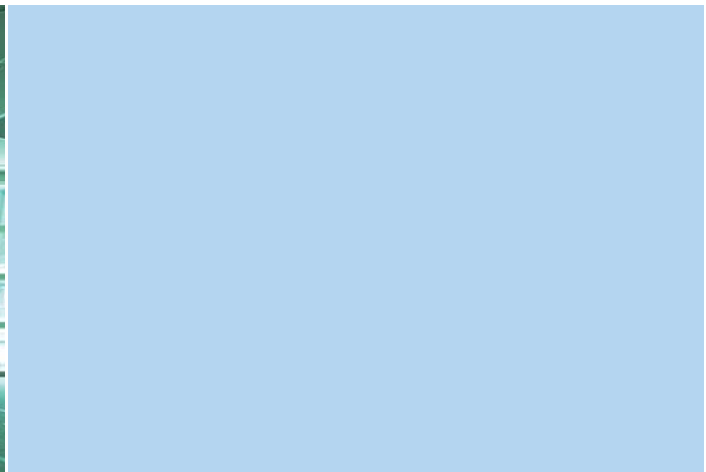
Oracle製品スイートには、Customer Relationship Management、Supply Chain Management、Enterprise Performance Management、Project Management、Service Automation、Financial Management、Human Capital Management、Supplier Relationship Management、Manufacturing Managementなどがあります。Oracleのビジネス分析ソフトウェアは、リアルタイム・データを収集して報告や分析に使用できるため、財務実績や顧客行動などのデータ追跡を可能にし、ビジネス上重要な意思決定の迅速化や精度の向上を実現します。

トップレベルのソリューション・デザイナーとの連携

プロジェクトを成功に導くためには、事前に綿密な計画策定が必要です。IBMは、お客様とともに運用上の問題点を事前に特定し、どのように解決するかビジネス目標や戦略目標に沿った形で検討することで、お客様のビジネスに合わせた計画の立案をお手伝いいたします。IBMコンサルタントは、各業界固有の戦略、ビジネス・プロセス、およびITシステム統合に関するスキルと経験を備えています。その広範な知識は、流通、教育、金融サービス、製造、小売、製薬/ライフサイエンス、消費財、通信、官公庁をはじめとするさまざまな業種とあらゆる企業規模にわたります。

IBMは、Oracleそしてお客様と協力してソリューションを設計し、お客様の業績向上とコスト削減を図る上で最適なIBMテクノロジーとOracleテクノロジーの組み合わせをご提案いたします。

IBM Oracle International Competency Centerは、米国カリフォルニア州およびコロラド州にあるOracleの開発拠点のほか、フランスと日本にも設置されています。いずれも、IBMとOracleのテクノロジー両方のトレーニングを合わせて受けた技術専門家が配置されており、Oracle製品に合わせたIBMインフラストラクチャーのパフォーマンスの最適化だけでなく、お客様のニーズに合ったソリューションの規模および仕様の決定に役立つガイドラインのご提示も行っています。



Oracle Applicationsおよびテクノロジーは、IBMのインフラ基盤向けに最適化されており、お客様のリスクの軽減、導入期間の短縮、そしてROIの早期実現を可能にします。IBMとOracleの技術を組み合わせることによりどのような価値が提供できるかを示すいくつかの例をご紹介します。

- Oracle Applicationsは、IBM System x™、IBM System i™、IBM System p™、IBM System z™、IBM System Storage™上で最適化されたパフォーマンスを発揮します。IBMのシステムは、Oracleアプリケーションの標準ベンチマークにおいてトップクラスのパフォーマンスを示しています。
- Oracleは、IBMの「オールインワン」型サーバーであるSystem iで稼働するOracleのJD Edwards WorldおよびJD Edwards EnterpriseOneアプリケーションの機能拡張を2013年以降も継続する予定であることを表明しています。
- Oracleは、同社の次世代アプリケーション・スイートであるFusion ApplicationsにおけるIBM WebSphere®およびIBM Tivoli®のサポートを表明しています。
- Oracleは、JD Edwards、Oracle、PeopleSoft、およびSiebelアプリケーションの機能拡張、IBMハードウェア製品上でのサポートを含むサポートの継続的な提供を表明しています。これにより、要件に応じて、既存のアプリケーションを引き続き利用することも、ビジネス・ケースに応じて将来のテクノロジーに無償で移行することも可能です。
- IBMプラットフォーム上でのOracle Applicationsおよびテクノロジーの継続的な提供とサポートが保証されているため、IBMのプラットフォームをご選択いただくことで、お客様は安心してシステムを構築、運用いただくことが可能となります。お客様の優先課題に即したソリューションの実現、システムの最適化、そしてそのご提案をお約束するために、IBMとOracleは今後も協力して取り組んでまいります。

イノベーションを実現する 最新の経営/IT基盤であるために

現在の日本企業は、お客様ニーズの高度化、予測困難な市場動向、そして拡大の一途をたどるグローバル化など、ますます厳しい環境におかれています。このような経営環境の中で、企業がより高い成長を求めていくには、イノベーションを継続的に実現していくことが不可欠です。

IBMは、Oracleベースのソリューションの主要なテクノロジー/導入パートナーであるだけでなく、密接な協業関係、IBMのOracle専門コンサルタントとOracleの専門知識、そしてソリューション開発において世界中で積み重ねた両社のノウハウを集結し、お客様のビジネス・イノベーションの実現をサポートしていきます。

お問い合わせ先

IBMとOracleのアライアンスによるお客様の競争力向上のご支援の詳細は、IBM営業担当員にお尋ねになるか、IBM Oracleアライアンス窓口(ORCLALL@jp.ibm.com)へご連絡下さい。

また、以下WebサイトでもIBMとOracleのアライアンスに関する情報を公開しています。

<http://www.ibm.com/jp/solutions/gisv/solutions/oracle.html>



日本アイ・ビー・エム株式会社

〒106-8711 東京都港区六本木3-2-12
03-08 Printed in Japan
<http://www.ibm.com/jp/>



日本オラクル株式会社

〒102-0094
東京都千代田区紀尾井町4-1
<http://www.oracle.co.jp/>

IBM, IBMロゴ, System x, System p, System i, System z, System Storage, Tivoli, およびWebSphereは International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における商標、他の会社名、製品名およびサービス名等はそれぞれ各社の商標。このカタログの情報は2008年3月現在のものです。製品、サービス等詳細については、弊社もしくはIBMビジネス・パートナーの営業担当員にご相談ください。●当カタログに記載のデータは、すべての場合において同等の効果が得られることを意味するものではありません。効果はお客様の環境、その他の要因によって異なります。●掲載されている製品・サービスはIBMがビジネスを行っているすべての国・地域でご提供可能なわけではありません。また国・地域によってはご提供条件が異なる場合がございます。詳細は各国IBMにお問い合わせください。●掲載された情報は2008年3月現在のものです。事前の予告なく変更する場合があります。©Copyright IBM Corporation. 2008 All rights reserved.

Oracleは、米国オラクル・コーポレーション及びその子会社、関連会社の米国及びその他の国における登録商標または商標です。Copyright ©2008, Oracle. All rights reserved.